

4
月
号

ふじの

REPORT

奈良県議会議員 ふじの良次

県政
レポート

Vol.

141

2024年
4月号



是々非々の立場で!

“責任と使命を果たす!”

2月26日開会の「定例県議会」は、令和6年度当初予算案及び令和5年度補正予算案を始め、副知事や県教育長の選任案など83議案を可決、議員提案の2件を再議で否決、五條市長らから提出された「大規模広域防災拠点等の整備に関する請願書」2件を採択し、3月25日に閉会しました。総額5千439億8千200万円の令和6年度当初予算案については、総額は変更せず“防災関連事業”などの一部を変更する修正案が提出され、賛成多数で可決されました。

修正された主な内容ですが、まずは「広域受援体制検討事業」です。今年に入り、五條市において大規模防災拠点を整備する予定であった県有地に、1畝のヘリポート・備蓄倉庫、25畝に巨大な“メガソーラー”を設置し、災害時に可搬型蓄電池等を活用する方針を発表されました。委員会等では、県庁内で十分な議論がなされておらず、政策決

定プロセスも不透明であることが指摘されており、また、五條市での住民説明会では、メガソーラーを活用した防災事業について多くの反対の声が上がるなど、地元の理解が得られていない状況です。修正案は、専門家や有識者等の意見も取り入れるとともに、奈良県全体の防災体制のあり方を検討するための「基本構想策定」に着手する予算へと変更されました。

次に「消防学校移転整備事業」です。現在、宇陀市にある消防学校は、老朽化が著しく進んでおり、知事は、今年に入り、消防学校を旧高田東高校に移転する方針を示され、当初予算に移転整備事業費を計上されました。しかし、当学校は浸水想定区域となっており、災害時には浸水被害の懸念があります。また、周辺道路は狭隘で大型車両等が進入できないなど、災害時に役割を果たすことができないという指摘もあります。やはり、消防学校は、奈良県の消防力

・防災力を強化する重要な施設であり、有識者会議等を通じて、ゼロベースで検討する必要があるとの考えから整備事業費は、全額削除となっています。その他、2031年に開催予定の国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会に向けた「橿原公苑リニューアル整備事業費」の修正も挙げられます。

今回の修正案はあくまで限定的なものとなっており「高校授業料の無償化」を始めとした教育・子育て支援策や人材確保・企業誘致などの産業力の強化策等、その他の予算案については、原案どおり可決されました。

私「ふじの良次」も、奈良県にとって重要な防災体制の構築と“国スポ”後も見据えた施設整備のあり方について、しっかりと議論することが重要であるとの観点から“修正案”に賛同を示したところです。これからも“是々非々”の立場で責任と使命を果たしてまいる所存です。

ふじの良次ホームページ


<http://www.y-fujino.jp/>

【代表・一般質問】や【委員会質問】などの議会報告や活動報告を定期的に更新しています。また、ご意見をメールにて受付いたしております。



奈良県中央卸売市場の再整備について

【問】知事は令和5年度中に中央卸売市場の再整備について、新しい基本方針を示すと表明されているが、現時点での市場再整備の進捗状況について、伺いたい。また、市場エリアと賑わいエリアの一体的整備が必要不可欠と考えるが、知事の所見を併せて伺いたい。


【知事】市場エリアについては、8割以上の事業者は新市場へ移転する意思を示されたことから、市場エリアの整備内容については、概ね理解を得られたと考えている。賑わいエリアについては、分割で整備することも含め、今しばらく整備方法等について、検討を行う。新しい基本方針の作成については、当面、延期することとしたい。もちろん、市場エリアについては、今後も再整備に向けた作業を着実に進めていきたい。また、賑わいエリアについては、食や市場と親和性のある施設を整備し、賑わい創出するという方向については、従前どおりと考えている。

【問】地域にとって重要な施設であり、一定の支援は県が行うべきと考える。知事のお考えをお伺いしたい。

【知事】市場事業者が負担する施設使用料をなるべく低減する方向で県の資金を活用したいと考えている。

災害時における高齢者支援について


【問】大規模災害時に、自力で避難できない高齢者の命を守るための「個別避難計画」の策定や避難所における被災高齢者の生活支援に、どのように取り組んでいくのか。

【知事】市町村長サミット等において首長に直接働きかけるとともに、市町村職員向けの研修や未策定市町村への助言等の個別支援に取り組む。

『代表質問』


3件の代表質問の概要を載せましたが、そのほか、下記の質問をしました。

- 能登半島地震に対する支援について
- 高齢者福祉施設に対する取り組みについて
- パートナーシップ制度について
- 学校における働き方改革について
- 要望「国民スポーツ大会について」

また、平時から、災害時に活動する専門職チームの実践的な訓練を重ねるなど対応力の強化に努めたい。高齢者等の災害時に配慮が必要な方々が確実に避難し、適切な支援を受けながら安心して過ごすことができるよう、市町村をはじめ関係機関と連携し、体制の充実を図る。

県内の公共交通ネットワークの確保について

【問】大和郡山市におけるバス路線のうち、近鉄郡山駅から県総合医療センターへの系統や王寺駅から国道25号経由でシャープ前に至る系統などは、県の補助がないと聞いており、何れも廃止された場合、通院や通勤、通学に大きな影響を及ぼす基幹的なバス路線と考えるが、こうした路線に対する今後の維持対策について伺いたい。

【知事】地域の関係者で構成する「エリア公共交通検討会議」で路線の改善策等について議論し、協議の整った路線について、運行費の一部を補助している。大和郡山市内を経由する2路線についても、要件を満たし、必要な協議が整えば、補助対象となり得る。また、来年度には、持続可能な地域公共交通に関する新たなモデルを構築するために必要な予算も計上している。

【問】大阪・関西万博が開催される令和7年度に向けて、多くの来県者によるオーバーツーリズムに備えた、公共交通サービスの確保などの対応が必要と考えるが、県はどのように取り組むのか。

【知事】交通事業者や市町村等が実施する事業への支援等を継続的に行っている。県として引き続き、県民の日常生活や観光客をはじめとする来訪者の移動ニーズを持続的に支える公共交通サービスの構築に向けて取り組む。

2026年NHK大河ドラマ『豊臣兄弟！』決定！！

2026年放送されるNHKの大河ドラマは、兄の秀吉を支えた豊臣秀長を主人公に、兄弟で天下統一を成し遂げるまでを描いた『豊臣兄弟！』に決まりました。

豊臣秀長は秀吉の弟で、大和郡山市にある郡山城を拠点に大和、紀伊、和泉など100万石余りを治めました。大和郡山市では、豊臣秀長ゆかりの地として担当窓口を設置し、観光振興につなげたいとしています。